

2016 年度 「持続可能な都市圏計画論（都市空間政策特論第9）」 シラバス

火曜 6・7 限連続（18 時 40 分－21 時 35 分）

2016.04.06 版

担当：片山健介（非常勤講師）

□講義の目的

グローバル化、人口減少、環境共生など都市・地域が直面する現代的課題に対応するための新たな広域計画が求められている。本講義では、まず持続可能な都市圏計画に向けた論点を把握した上で、国内外の先進的な広域計画・都市計画制度や広域連携の事例について学ぶ。

□講義日程・項目

7 月 12 日 (火)	6 限	持続可能な都市圏計画に向けた論点（総論） 片山健介（長崎大学）
	7 限	日本の事例①： 県境を越える広域連携－三遠南信地域の取り組み 戸田敏行（愛知大学）
7 月 19 日 (火)	6 限	日本の事例②： 地方都市圏における広域連携－高梁川流域連携中枢都市圏の取り組み 有本好孝（倉敷市企画経営室）
	7 限	諸外国の事例①： イギリス～ローカル・ベースの連携と広域計画～ 片山健介（長崎大学）
7 月 26 日 (火)	6 限	諸外国の事例②： フランス～地方分権と広域連携～ 岡井有佳（立命館大学）
	7 限	諸外国の事例③： ドイツ～明示的で詳細な計画づくりと各主体間の明確な役割分担～ 瀬田史彦（東京大学）
8 月 2 日 (火)	6 限	諸外国の事例④： アメリカ～制度の多様性と今日的課題～ 西浦定継（明星大学）
	7 限	諸外国の事例⑤： アジア～急速な都市化とまちづくりの胎動～ 志摩憲寿（東洋大学）

□理解すべき事項

日本および諸外国の都市圏における広域的な論点、広域計画・広域連携の制度・手法・取り組みの事例について意義・課題を理解する。

□成績評価

出席・レポート

□その他

参考書：大西隆編著『広域計画と地域の持続可能性』学芸出版社, 2010 年 3 月.